

未来

郵政産業ユニオン
PIWU
 全労協・郵政産業労働者
 ユニオン長崎中郵支部
 機関紙・「みらい」
 NO. 4154
 '21年6月1日(火)
 Tel・Fax 095-828-1953

おはようございます。

現在の様なネット社会になっても、朝起きて、まず目を通す紙媒体の新聞。それによって世の中の事を知ることが依然と多いです。

まず目に入るのが、新型コロナウイルスと郵政関連の記事。そしておやみ覽を探してしまいます。いずれにしても良い情報ではない事が多いのですが、「怖いもの見たさ」もあるのでしょう。

そんな5月20日、「全国5700郵便局。顧客情報6万7000人分紛失」の記事。またですか！とため息が出てしまいました。つい先日地元長崎の住吉郵便局が全国ニュースになったばかりです。今回の内容は、国債や投資信託を取引した顧客6万7千人分以上の個人

人情報を記載した書類を紛失。その中には氏名やゆうちょ銀行の口座番号と取引金額が記録されているらしいのです。まだ調査途中なのでこれより増える可能性もあるみたいですが。次々に明るみに出る不祥事に、郵政の問題の奥深さを感じます。

かんぽ生命の不適切営業のようにトカゲのしつぽ切りのな対処で、「はい終わりまりました」。では信頼を回復したとは言えないのではないのでしょうか。創業150年の歴史で積み上げた信用。しかしそれと同じくらい以前から抱えてきた問題を放置してきた事が今の状況を作ってきた様に思います。



この絵葉書に見る赤レンガ造りの長崎郵便局は明治30年代だと思われまます。梅香崎1番地に明治17年頃に建てられました。左には大北電信社と日本郵船会社も写っています。

長崎の居留地制度は明治32年まで続きますので、この洋館郡を見ると歴史を感じます。



そして大正7年、同じ場所に近代的な長崎郵便本局が完成しました。現在の恵美須町の中央郵便局の前身です。恵比須町への移転は昭和45年なので、先輩たちからこの梅香崎の長崎郵便本局の話は聞いた事があります。郵政創業150周年の年、時を戻すことは不可

能ですが、もう一度原点に戻り、この素晴らしい局舎にふさわしい、会社であってほしいと思えます。

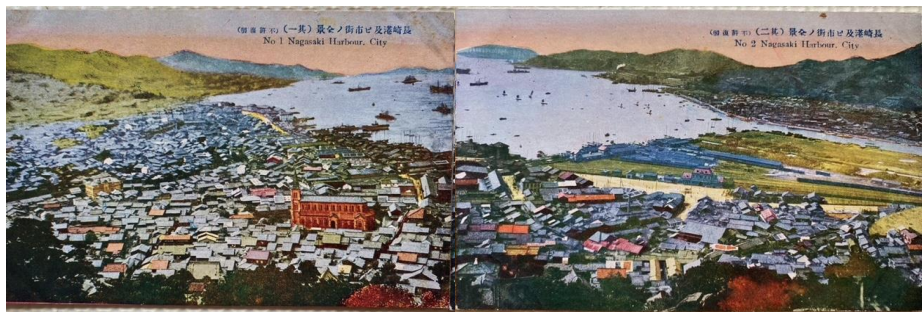
もう一つ、新聞で見ると長崎の歴史、特に今年には開港450周年で関連の記事が掲載されています。

今から450年前、元龜2年(1571)に、長崎港にポルトガル貿易船が入港しました。この年を開港の年としています。同時に海に突き出た岬(県庁跡地)江戸町から万才町にかけて、島原町、大村町、平戸町、外浦町、横瀬浦町、文知町が建設されました。6町時代の始まりです。

ポルトガル人代表と大村純忠との間に長崎開港協定が成立します。貿易品を大阪、京都に売買するため博多から商人が入りました。またキリスト教の布教もあり長崎独特の歴史を歩んでいく事になります。

私が働く長崎中央郵便局は地理的にも歴史の中心地にあります。長崎を訪れる観光客の方は、その魅力を、「異国情緒、食べ物、産業遺産」などと

言って頂けますが、意外と住んでいる私たちが知らない事が多いのではないのでしょうか。



この絵葉書は戦前の長崎全景です。もちろん長崎郵便局本局も入っていると思います。今年には節目の年です。ちなみに郵政ユニオン長崎は31周年になります。コロナ禍ではありますが、良い年にしたいものです。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員と希望者全員を正社員化を。

ゆびが、均等待遇、なごころ差別。

ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ！

期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, 支部・分会の役員へ。